



指定統計第67号  
漁業センサス  
農林水産省

2008年漁業センサス  
海面漁業調査  
漁業管理組織調査票

平成20年11月1日調査

**この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。**

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「漁業管理組織調査票の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成20年）の**11月1日現在**で記入する箇所と、過去5年間で記入する箇所があります。過去5年間の場合は、**平成15年1月1日から平成19年12月31日までの5年間について記入**してください。

【統計調査員】	月 日 ( )
氏 名 :	午前・午後 時ごろに
電話番号 :	調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。

〔事務処理欄〕

区分コード

大海区 都府県(支庁) 市区町村 客体番号 市区町村名 客体名

-  -  -

# I 11月1日現在の参加漁業経営体

1 管理組織に参加している漁業経営体数を記入してください。

101					
-----	--	--	--	--	--

(経営体)

数字は、算用数字で1マスに1文字ずつ右に詰めて記入してください。

2 管理対象漁業種類別の参加漁業経営体数を記入してください。

		(経営体)			
底びき網	小型底びき網	111			
	上記以外の底びき網	112			
船	び	き	網	113	
刺			網	114	
定	置		網	115	
は	え		縄	116	
	釣			117	
採	貝	・	採	藻	118
そ	の	他	の	漁	業
海	面	養	殖	業	120
上	記	以	外	の	漁
				業	121

3 参加漁業経営体がある地域範囲について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	1 市区 町村内	複数の 市区町村	各都道府県 内の全域	複数の 都道府県
131	1	2	3	4

## II 漁業管理

1 過去5年間（平成15年1月1日～平成19年12月31日）に自主的な漁業管理を行った、すべての管理対象魚種に○印を付けてください。

かつお・まぐろ類	201		さわら類	213		ほたてがい	225	
さけ・ます類	202		いかなご	214		その他の貝類	226	
さば類	203		ふぐ類	215		いか類	227	
ぶり類	204		その他の魚類	216		たこ類	228	
ひらめ	205		いせえび	217		うに類	229	
かれい類	206		くるまえび	218		なまこ類	230	
すけとうだら	207		その他のえび類	219		その他の水産動物類	231	
はたはた	208		がざみ類	220		こんぶ類	232	
あなご	209		その他のかに類	221		その他の海藻類	233	
はも	210		あわび類	222		その他	234	
まだい	211		さざえ	223		魚種不特定	235	
その他のたい類	212		あさり類	224				

## 2 過去5年間に行った漁業管理の内容

(1) 漁業資源の管理や漁場の保全・管理の内容について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

ただし、試験的に行ったものや、継続性の無いものは除きます。

	漁業資源の管理				漁場の保全・管理							
	資源量の把握	漁獲（収獲）枠の設定	漁業資源の増殖	その他	漁場の保全	うち、藻場・干潟の維持管理	うち、合成洗剤不使用の取組	漁場の造成	漁場利用の取決め	漁場の監視	植樹活動、魚つき林の造成	その他
241	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

(2) 漁獲管理の具体的な規制内容について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

		漁期の規制	漁法の規制	漁船隻数の規制	漁船トン数・馬力数の規制	漁具の規制	出漁日数の規制	操業時間の規制	操業人員の規制	漁獲(収獲)サイズの規制	漁獲量(収獲量)の規制	その他
法制度による規制	251	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
自主規制	252	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

3 過去5年間に行った漁業管理に係る調整について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

	管理組織内の漁業種類間の調整	漁協地区内の他の漁業種類との調整	他の漁協地区・市町村等との調整	遊漁との調整
261	1	2	3	4

調査はここで終わりです。  
ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、ご担当者名と電話番号の記入をお願いします。

担当者：

電話番号：



指定統計第67号
漁業センサス
農林水産省

2008年漁業センサス  
海面漁業調査  
**海面漁業地域調査票**

平成20年11月1日調査

**この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。**

## 〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「海面漁業地域調査票の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、過去1年間で記入する箇所と、過去5年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、**平成19年11月1日から平成20年10月31日までの1年間について記入**してください。過去5年間の場合は、**平成15年1月1日から平成19年12月31日までの5年間について記入**してください。

<p>【統計調査員】</p> <p>氏名：</p> <p>電話番号：</p>	<p>月 日（ ）</p> <p>午前・午後 時ごろに</p> <p>調査票の回収に伺いますので、</p> <p>それまでに該当する箇所の記入をお願いします。</p>
--	---

## 〔事務処理欄〕

区分コード

大海区	都府県 (支庁)	市区町村	客体番号	市区町村名	客体名
□□	□□	□□□□	□□	□□□□□□□□	□□□□□□□□

# I 生産条件

## 1 漁場環境の変化

(1) 漁業協同組合の管轄区域内における過去5年間（平成15年1月1日～平成19年12月31日）の漁業権の放棄面積について、年次別（暦年）に記入してください。

漁業権の放棄がない場合は、次ページの「2 遊漁の状況」に進んでください。

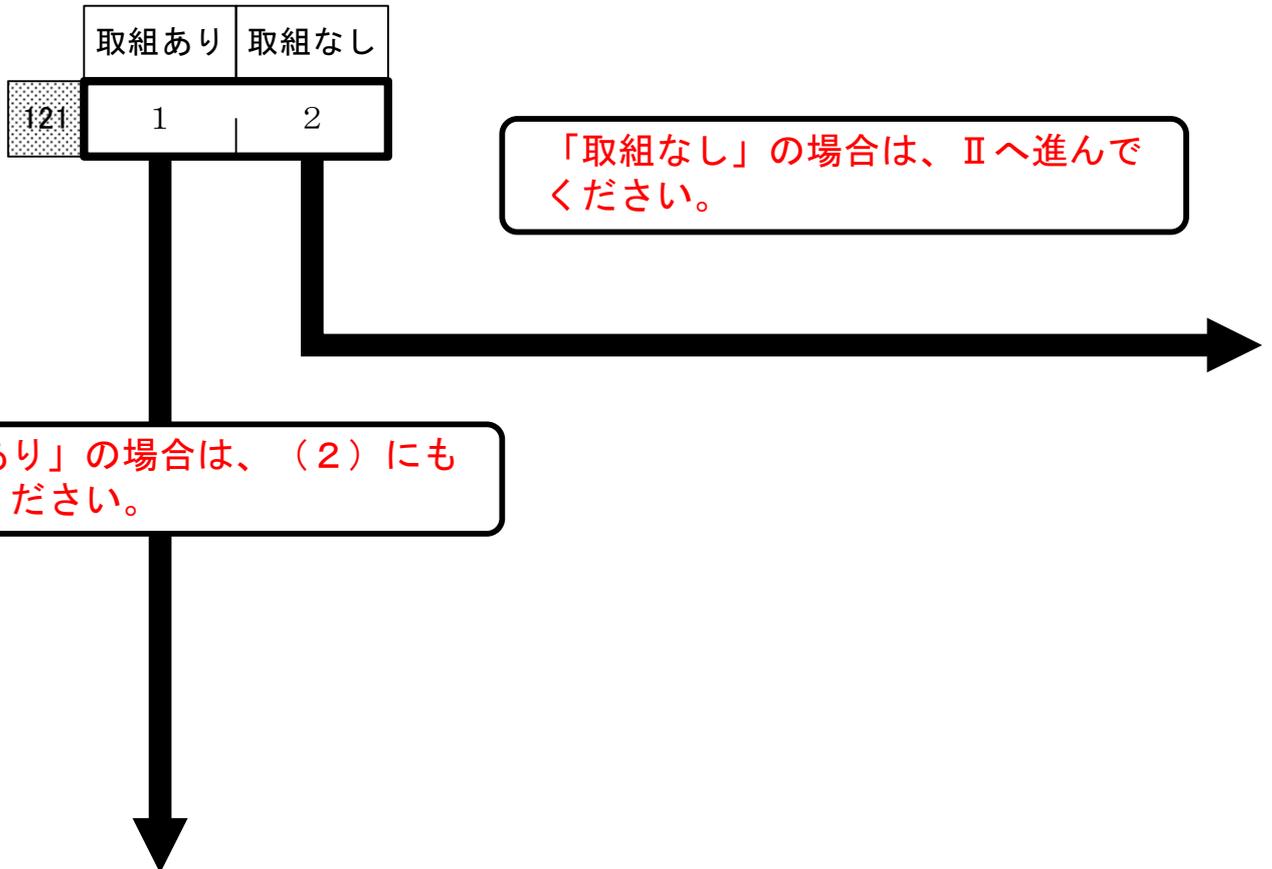
		万	千	百	十	( $m^2$ )
平成15年	101					
平成16年	102					
平成17年	103					
平成18年	104					
平成19年	105					

(2) 上記の漁業権放棄の原因について、当てはまる番号すべて〇で囲んでください。  
また、そのうち、主な原因について、当てはまる番号を一つ〇で囲んでください。

	原因	埋め立て					その他
		港湾・漁港の建設	道路建設	宅地造成	工業用地造成	その他	
当てはまる番号をすべて〇で囲みます。	原因 111	1	2	3	4	5	6
当てはまる番号を一つ〇で囲みます。	主な原因 112	1	2	3	4	5	6

## 2 遊漁の状況

(1) 過去1年間(平成19年11月1日～平成20年10月31日)の漁業協同組合の管轄区域内における漁業協同組合と遊漁関係団体と連携している取組の有無について、当てはまる番号を一つ〇で囲んでください。



(2) 取組の具体的な内容について、当てはまる番号をすべて〇で囲んでください。(漁業協同組合単独の取組は除きます。)

	資源保護			資源増殖		環境保全			その他		
	体長規制	禁止区域の設定	採捕時期等の規制	稚魚等の放流	その他	海岸清掃	藻場・干潟の造成・管理	漁場の清掃		その他	
131	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11

「その他」の場合は、具体的に記入してください。

## II 活性化の取組

- 1 過去1年間に漁業協同組合が実施した都市との交流活動の取組について、その取組の参加人数を記入してください。

漁業体験と魚食普及活動を一体的に実施した場合については、それぞれに同じ人数を記入してください。

		万 千 百 十 (人)				
漁 業 体 験	141					
魚 食 普 及 活 動	142					
そ の 他	143					

- 2 漁業協同組合の運営する水産物直売所の施設数及び過去1年間の利用者数（来場者数）について記入してください。

		施設数	年 間 利 用 者 数 万 千 百 十 (人)				
水産物直売所	151					0	0

調査はここで終わりです。  
ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、ご担当者名と電話番号の記入をお願いします。

担当者：

電話番号：

秘

指定統計第67号
漁業センサス
農林水産省

2008年漁業センサス  
内水面漁業調査

内水面漁業経営体調査票Ⅰ  
(個人経営体用)

平成20年11月1日調査

**この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。**

## 〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「内水面漁業経営体調査票Ⅰ（個人経営体用）の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成20年）の**11月1日現在**で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、**平成19年11月1日から平成20年10月31日までの1年間について記入**してください。

【統計調査員】	月 日 ( )
氏 名 :	午前・午後 時ごろに
電話番号 :	調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。

## 〔事務処理欄〕

区分コード

都府県 (支庁)	市区町村	漁業地域	調査区	漁業集落	客体番号	湖沼番号
<input type="text"/>						

市区町村名

漁業地域名

湖沼名

# I 世帯について

## 1 世帯員すべての人数

11月1日現在の世帯員の人数を記入してください。(人)

数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

		すべての世帯員				うち、満14歳以下の世帯員			
701	男								
702	女								

## 2 家としての専業・兼業

(1) 当てはまる番号を一つ〇で囲んでください。

	漁業専業	兼業	
		漁業が主	他が主
711	1	2	3

兼業の場合は、過去1年間（平成19年11月1日～平成20年10月31日）の収入が多い方を「主」としてください。

## 4 漁業を行った人

満15歳以上の世帯員（平成5年10月31日午前零時までに生まれた人）のうち、過去1年間に漁業を行った人をもれなく記入してください。

経営主とは、自家漁業の経営に責任を持つ人や、経営の意志決定を行う人です。

名 前 (経営主(本人)との 続き柄やABC等の 記号でもかまいません。)	平成20年11月1日現在の満年齢													男女の別	
	15 歳	20 歳	25 歳	30 歳	35 歳	40 歳	45 歳	50 歳	55 歳	60 歳	65 歳	70 歳	75 歳 以上	男	女
①	②													③	
	い ず れ か に 〇 印													い ず れ か に 〇 印	
731 経営主	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2
732 漁業を行った人	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2
733	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2
734	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2
735	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2
736	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2
737	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2
738	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	1	2







湖沼及びその他の内水面において、養殖業を行った場合は、6～7ページを記入してください。行っていない場合は、ここで終わりです。

### Ⅲ 内水面養殖業

1 過去1年間の養殖業に雇った人数を記入してください。

		(人)	
		男	女
計	301		
15～19歳	302		
20～24歳	303		
25～29歳	304		
30～34歳	305		
35～39歳	306		
40～44歳	307		
45～49歳	308		
50～54歳	309		
55～59歳	310		
60～64歳	311		
65～69歳	312		
70～74歳	313		
75歳以上	314		

2 過去1年間の収穫物(養殖業)の販売金額について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

販売金額なし	10万円未満	10万	30万	50万	100万	300万	500万	1,000万	2,000万	5,000万	1億以上
3	2	1	4	5	6	7	8	9	10	11	12

### 3 養殖種類

(1) 過去1年間に養殖したすべての養殖種類別に施設面積、使用面積を記入してください。

そのうち、販売金額が最も多かったもの一つに「①」を記入してください。

**施設面積**

所有(借入を含む。)するすべての施設面積

**使用面積**

通常使用している面積(魚類を放養していない施設は除く。)

食 用 種 苗 用 親 賞 用 真	に じ ま す の 他 ま す 類 あ ゆ こ い ふ な ぎ す っ ぽ ん 海 水 魚 種 (ひ ら め 等) そ の 他 ま す 類 あ ゆ こ い そ の 他 錦 ご い き ん ぎ よ 珠	番 号	施設面積 万 千 百 + (m <sup>2</sup> )				使用面積 万 千 百 + (m <sup>2</sup> )				販売金額が最も多かったもの一つに「①」を記入	
		331										
		332										
		333										
		334										
		335										
		336										
		337										
		338										
		339										
		340										
		341										
		342										
		343										
		344										
		345										
		346										

(2) 過去1年間に行ったすべての地方選定養殖種類について○印を記入してください。

地方選定養殖種類名	地方選定養殖種類番号	○印欄

### 4 養殖方法

過去1年間に養殖したすべての養殖方法別に養殖池数、養殖面積を記入してください。

そのうち、販売金額が最も多かったもの一つに「①」を記入してください。

真珠養殖の場合は、「養殖池数」の欄に区画漁業権の数を記入してください。

池 中 養 殖	止 水 式 流 水 式 循 環 式	番 号	養殖池数 (網いけす数、養殖池の区画数) (面)	養 殖 面 積 万 千 百 + (m <sup>2</sup> )				販売金額が最も多かったもの一つに「①」を記入
		351						
		352						
		353						
		354						
		355						
		356						

調査はここで終わりです。  
ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、電話番号の記入をお願いします。

電話番号：





指定統計第67号
漁業センサス
農林水産省

2008年漁業センサス  
内水面漁業調査

内水面漁業経営体調査票Ⅱ  
(会社・団体用)

平成20年11月1日調査

**この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。**

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「内水面漁業経営体調査票Ⅱ（会社・団体用）の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成20年）の**11月1日現在**で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、**平成19年11月1日から平成20年10月31日までの1年間について**記入してください。

<p>【統計調査員】</p> <p>氏 名：</p> <p>電話番号：</p>	<p>月 日（ ）</p> <p>午前・午後 時ごろに</p> <p>調査票の回収に伺いますので、</p> <p>それまでに該当する箇所の記入をお願いします。</p>
---	---

〔事務処理欄〕

区分コード								組織区分
都府県 (支庁)	市区町村	漁業地域	調査区	漁業集落	客体番号	湖沼番号		2：会社
<input type="text"/>	3：漁業協同組合							
市区町村名	漁業地域名	湖沼名	事業所名					
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>					





湖沼及びその他の内水面において、養殖業を行った場合は、4～5ページを記入してください。行っていない場合は、ここで終わりです。

## Ⅱ 内水面養殖業

1 過去1年間の養殖業の従業者数を記入してください。

		(人)	
		男	女
計	301		
15～19歳	302		
20～24歳	303		
25～29歳	304		
30～34歳	305		
35～39歳	306		
40～44歳	307		
45～49歳	308		
50～54歳	309		
55～59歳	310		
60～64歳	311		
65～69歳	312		
70～74歳	313		
75歳以上	314		

2 過去1年間の収穫物(養殖業)の販売金額について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

販売金額なし	10万円未満	10万	30万	50万	100万	300万	500万	1,000万	2,000万	5,000万	1億以上	
§	§	§	§	§	§	§	§	§	§	§	§	
3 2 1	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

### 3 養殖種類

(1) 過去1年間に養殖したすべての養殖種類別に施設面積、使用面積を記入してください。  
 そのうち、販売金額が最も多かったもの一つに「①」を記入してください。

**施設面積**

所有(借入を含む。)するすべての施設面積

**使用面積**

通常使用している面積(魚類を放養していない施設は除く。)

			施設面積 万 千 百 十 (m <sup>2</sup> )				使用面積 万 千 百 十 (m <sup>2</sup> )				販売金額が最も多かったもの一つに「①」を記入
食	に じ ま す	331									
	そ の 他 ま す 類	332									
	あ ゆ	333									
	こ い	334									
	ふ な	335									
	う な ぎ	336									
	す っ ぽ ん	337									
用	海水魚種(ひらめ等)	338									
	そ の 他	339									
種	ま す 類	340									
	あ ゆ	341									
	こ い	342									
用	そ の 他	343									
	観賞用										
真	錦 ご い	344									
	き ん ぎ よ	345									
	真 珠	346									

(2) 過去1年間に行ったすべての地方選定養殖種類について○印を記入してください。

地方選定養殖種類名	地方選定養殖種類番号	○印欄

### 4 養殖方法

過去1年間に養殖したすべての養殖方法別に養殖池数、養殖面積を記入してください。

そのうち、販売金額が最も多かったもの一つに「①」を記入してください。

真珠養殖の場合は、「養殖池数」の欄に区画漁業権の数を記入してください。

			養殖池数 (網いけす数、養殖池の区画数) (面)				養殖面積 万 千 百 十 (m <sup>2</sup> )				販売金額が最も多かったもの一つに「①」を記入
池	止 水 式	351									
	流 水 式	352									
	循 環 式	353									
	ため池養殖	354									
	網いけす養殖	355									
	その他養殖	356									

調査はここで終わりです。

ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、ご担当者名と電話番号の記入をお願いします。

担当者：

電話番号：





指定統計第67号
漁業センサス
農林水産省

2008年漁業センサス  
内水面漁業調査  
**内水面漁業地域調査票**  
平成20年11月1日調査

**この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。**

## 〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「内水面漁業地域調査票の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成20年）の**11月1日現在**で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、**平成19年11月1日から平成20年10月31日までの1年間について**記入してください。

<p>【統計調査員】</p> <p>氏名： 電話番号：</p>	<p>月 日（ ）</p> <p>午前・午後 時ごろに</p> <p>調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。</p>
-------------------------------------	---

## 〔事務処理欄〕

区分コード

都府県 (支庁)	市区町村	水系	小水系	客体番号

漁協種類コード

1：河川  
2：湖沼  
3：養殖

市区町村名

客体名

## I 組合員数

11月1日現在の漁業協同組合の正・准組合員数について記入してください。

(人)

数字は、算用数字で1マスに1字ずつ右に詰めて記入してください。

正 組 合 員	101			
准 組 合 員	102			

## II 生産条件

### 1 漁場環境

(1) 11月1日現在に漁業協同組合の管轄区域内にある河川・湖沼関連施設について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

	えん 堰	てい 堤	うち、 魚道つき	魚礁・魚 巢ブロッ ク	産卵場
111	1		2	3	4

**堰堤**… 水流をせき止めたり、調節したりするために、河川の途中や湖沼の出入りに設けられた仕切り。

**魚礁・魚巢ブロック**… 河川や湖沼に自然石やブロックを人為的に投入、あるいは設置された水産動植物の生息場。

**産卵場**… 水産動植物の産卵を行う場所として、禁漁区の設定、水性植物の保護・造成、河床の整備、浮産卵礁の設置及び堆積物の除去等を行っている区画。

(2) 過去1年間（平成19年11月1日～平成20年10月31日）に漁業協同組合の漁場環境改善への取組について当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

	種 苗 生 産 ・ 放 流	中 間 育 成	保 護 水 面 の 管 理	産 卵 場 の 造 成 管 理	魚 道 の 管 理	魚 つ き 林 の 造 成	植 魚 つ き 樹 林 の 造 成 以 外 の 活 動	河 川 ・ 湖 沼 の 清 掃 活 動
121	1	2	3	4	5	6	7	8

**魚つき林**… 水面に対する森林の陰影、投影、魚類等に対する養分の供給、水質の汚濁防止等の作用により魚類のすむところや繁殖を助ける目的で設けた林。ただし、魚つき保安林として指定された魚つき林は除く。

**植樹活動**… 森林がもたらす栄養分に富んだ水の安定供給、保水機能、良質の土砂の供給等により魚介類等を保育する目的で山に木を植え、その保育作業をすることをいう。

(3) 過去1年間に漁業協同組合の生産した種苗の種類について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

放流等のために行う中間育成や蓄養は除きます。

	さ け ・ ま す 類								あ	こ	ふ	そ
	さく河性			陸 封 性								
	しろぎけ	さくらます	その他	にじます	あまご	やまめ	いわな	その他				
131	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12

(4) 過去1年間に漁業協同組合の放流したものについて、数量を記入してください。

百 十 千  
万 万 万(尾)

さ け ・ ま す 類	さく河性	しろぎけ	141				
		さくらます	142				
		その他	143				
	陸封性	にじます	144				
		あまご	145				
		やまめ	146				
		いわな	147				
	その他	148					
あ	ゆ	149					
こ	い	150					
ふ	な	151					
う	なぎ	152					
その他の魚類			153				

千 百 十 万  
万 万 万(粒)

わかさぎ卵	154				
その他の卵	155				

千 百 十(kg)

貝 類	156				
-----	-----	--	--	--	--

## 2 遊漁の状況

(1) 過去1年間に漁業協同組合の遊漁承認証の発行枚数について記入してください。

遊漁承認証の対象魚種が複数魚種の場合は、それぞれの対象魚種に記入してください。

(例) あゆ、やまめ及びびこいの複数魚種を対象とした遊漁承認証を過去1年間に100枚発行した場合は、あゆ欄に100枚、ます類欄に100枚及びこい・ふな類欄に100枚とそれぞれに記入してください。

		ま す 類 万 千 百 十(枚)			あ ゆ 万 千 百 十(枚)			こい・ふな類 万 千 百 十(枚)			わ か さ ぎ 万 千 百 十(枚)			そ の 他 万 千 百 十(枚)		
遊 漁 承 認 証	年 間	171			172			173			174			175		
	漁 期 間	176			177			178			179			180		
	1 日	181			182			183			184			185		

(2) 過去1年間に漁業協同組合の遊漁者への啓発・普及活動の取組について当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

	ポスター、パンフレットの作成	講習会の開催	その他の啓発・普及活動
191	1	2	3

## Ⅲ 活性化の取組

1 過去1年間に漁業協同組合が実施した都市との交流活動の取組について、その取組の参加人数を記入してください。

漁業体験と魚食普及活動を一体で実施した場合には、それぞれに同じ人数を記入してください。

		参 加 人 数 万 千 百 十(人)		
漁 業 体 験	201			
魚 食 普 及 活 動	202			
そ の 他	203			

2 漁業協同組合の運営する水産物直売所の施設数及び過去1年間の利用者数(来場者数)について記入してください。

		施設数	年間利用者数 万 千 百 十(人)		
水 産 物 直 売 所	211				0 0

調査はここで終わりです。

ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、ご担当者名と電話番号の記入をお願いします。

担当者：

電話番号：



指定統計第67号
漁業センサス
農林水産省

# 2008年漁業センサス 流通加工調査 魚市場調査票

平成20年11月1日調査

**この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。**

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「魚市場調査票の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成20年）の**11月1日現在**で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、**平成19年1月1日から平成19年12月31日までの1年間について**記入してください。

<p>【統計調査員】</p> <p>氏名： 電話番号：</p>	<p>月 日（ ）</p> <p>午前・午後 時ごろに</p> <p>調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入をお願いします。</p>
-------------------------------------	--

〔事務処理欄〕

区分コード 大海区 都府県(支庁) 市区町村 漁業地区 客体番号 <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> - <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/> - <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> - <input style="width: 40px; height: 20px;" type="text"/> - <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	市場種類コード 1:中央 2:地方 3:その他 <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>	開設者コード 1:地方公共団体 4:会社 2:漁協 5:個人 3:漁連 <input style="width: 20px; height: 20px;" type="text"/>
市区町村名 <input style="width: 150px; height: 20px;" type="text"/>	漁業地区名 <input style="width: 150px; height: 20px;" type="text"/>	事業所名 <input style="width: 250px; height: 20px;" type="text"/>

ここから記入してください



- 1 魚市場の中で水揚げ又は搬入された漁獲物を卸売りするために使用できる売場の最大面積を**m<sup>2</sup>単位**で記入してください。

万 千 百 十 (m<sup>2</sup>)

101	<input style="width: 100%; height: 20px;" type="text"/>				
-----	---	---	---	---	---

2 11月1日現在の魚市場に所属する水産物卸売業者と水産物買受人の業者数を記入してください。

千 百 十 (業者)

水産物卸売業者数	111			
水産物買受人数	112			

水産物買受人とは、水産物卸売業者から買い受ける仲卸業者及び売買参加者です。

魚市場内の複数の卸売業者に、同一の買受人が登録している場合は、魚市場としての買受人数を記入し、重複させないでください。

3 魚市場における過去1年間（平成19年1月1日～12月31日）の取扱高について、数量欄に水産物取扱数量を、金額欄に水産物取扱金額を記入してください。

万 千 百 十 (トン)

数	総 数	121				
	うち、活魚	122				
量	水 揚 量	123				
	搬 入 量	124				
	うち、輸入品	125				

数量は、過去1年間に魚市場へ上場された水産物（活魚、生鮮品、冷凍品、加工品）の数量です。

また、第1次水揚量（内水面漁業、養殖量による生産品を含む。）のほか、他の漁業地域からの搬入量及び輸入品も含めます。

億 千万 百万 十万 (万円)

金 額	総 額	126				
	うち、活魚	127				
	うち、輸入品	128				

金額は、数量欄で記入した、魚市場に上場された数量に対応する総金額を記入してください。

4 11月1日現在で魚市場において、水産物の品質・衛生等の管理を目的として設置されている機器について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

	海 水 殺 菌 装 置	砕 氷 ・ 製 氷 機	脱 臭 装 置、排 ガ ス 処 理 装 置	水 産 加 工 機 器	そ の 他
131	1	2	3	4	5

(海水殺菌装置)

海水の殺菌・滅菌を目的とした装置。

(砕氷・製氷機)

氷がけ等、魚市場内で使用する氷を製造するための装置。

出荷用保冷車や漁船の船艙に積むための氷のみを製造する目的の装置は含めません。

(脱臭装置、排ガス処理装置)

建物内の空気の清浄を目的とした装置。

(水産加工機器)

フィルムシーン、包装機などの水産物の一次加工、パック作業等を自動で行うための装置。

(その他)

上記以外で、水産物の品質・衛生等の管理を目的として設置されている機器。

調査はここで終わりです。  
ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、ご担当者名と電話番号の記入をお願いします。

担当者： 電話番号：



指定統計第67号
漁業センサス
農林水産省

2008年漁業センサス  
流通加工調査

# 冷凍・冷蔵、水産加工場調査票

平成20年11月1日調査

**この調査票は、統計以外の目的（税金の徴収等）に使用することはありません。**

〔記入上の注意〕

- 1 記入に当たっては、「冷凍・冷蔵、水産加工場調査票の記入の仕方」をよく読んでから記入してください。
- 2 調査票の内容については、本年（平成20年）の**11月1日現在**で記入する箇所と、過去1年間で記入する箇所があります。過去1年間の場合は、**平成19年11月1日から平成20年10月31日までの1年間について記入**してください。

【統計調査員】	月 日 ( )
氏 名 :	午前・午後 時ごろに
電話番号 :	調査票の回収に伺いますので、 それまでに該当する箇所の記入 をお願いします。

〔事務処理欄〕

区分コード

大海区 都府県(支庁) 市区町村 漁業地区 客体番号

□□□ - □□□ - □□□□□ - □□□□□ - □□□□□

市区町村名

漁業地区名

事業所の形態コード

- 1:個人
- 2:会社
- 3:漁協、漁連、生産組合
- 4:水産加工組合、加工連
- 5:その他の組合
- 6:その他

事業所の区分コード

- 1:冷凍・冷蔵工場のみ
- 2:水産加工場のみ
- 3:両方

事業所名

# I 事業所の概要

1 過去1年間（平成19年11月1日～平成20年10月31日）に事業所で営んだ事業について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

また、そのうち事業の収入が一番多かったものについて、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

**冷蔵倉庫業**とは、冷凍・冷蔵施設で**寄託品の保管を行う**事業です。

冷蔵倉庫業	水産加工業	漁業・養殖業	水産物卸売業	水産物仲卸（買）業	水産物小売業	その他の		
営んだ事業	101	1	2	3	4	5	6	7
主とする事業	102	1	2	3	4	5	6	7

当てはまる番号をすべて○で囲みます。

当てはまる番号を一つ○で囲みます。

2 11月1日現在の事業所における従業者数を記入してください。

		千 百 十 (人)			
常時従業者	男	111			
	女	112			
うち、外国人		113			
その他	男	114			
	女	115			
うち、外国人		116			

**従業者**とは、以下の①～④のいずれかに該当する人をいいます。

- ① 個人事業主及び無給の家族従事者
- ② 常勤の役員
- ③ 雇用者（賃金・給与（現物給与を含む）を支給されている人）
- ④ 出向・派遣受入者

なお、実務にたずさわらない事業主、他の会社等へ出向・派遣している者及び研修生は含めません。

**常時従業者**とは、上記の①及び②に加え、③又は④のうち、以下の⑤～⑦のいずれかに該当する人をいいます。

- ⑤ 期間を定めずに従事している人
- ⑥ 1か月を超える期間を定めて従事している人
- ⑦ 平成20年9月と10月にそれぞれ18日以上従事した人

**その他**とは、常時従業者以外の従業者をいいます。

例：1か月以内の期間を定めて雇用されている人、日々雇用されている人、等

なお、臨時雇用、日々雇用の場合でも、常時従業者の⑦に該当する場合は、常時従業者に含めます。

**うち、外国人**には、常時従業者及びその他のそれぞれに含まれている外国人の人数を記入してください。

なお、技能実習制度（2年間）による場合は従業者に含めますが、外国人研修制度（1年間）による場合は従業者に含めません。

## II 冷凍・冷蔵工場

以下に該当する場合は、このページを記入してください。  
該当しない場合は次のページへ進んでください。

主機10馬力（7.5kW）以上の冷凍・冷蔵施設を所有し、調査日前1年間（平成19年11月1日～平成20年10月31日）に水産物を低温保管した事業所、又は水産物の凍結作業を行った事業所が対象です。

なお、冷蔵倉庫業の他、水産加工場で所有する自家用冷凍・冷蔵庫で加工原料や製品を保管した場合も含めます。

1 事業所の冷凍・冷蔵庫の用途について、当てはまる番号を一つ〇で囲んでください。

201	営業用	自家用
	1	2

**営業用**とは、倉庫業法に基づき営業許可を受けた冷蔵倉庫で、水産物の保管に用いるものをいい、自営品のみを扱った工場であっても、倉庫業法に基づくものは含めます。

**自家用**とは、倉庫業法に基づかない冷蔵倉庫で、水産物の保管に用いるものをいい、寄託品を扱っている工場であっても、倉庫業法に基づかないものは含めます。

2 過去1年間に事業所の冷凍・冷蔵庫を利用した利用者について、当てはまる番号をすべて〇で囲んでください。

また、そのうち在庫量が一番多かった利用者について、当てはまる番号を一つ〇で囲んでください。

	利用者	211	寄託品							自営品	
			1	2	3	4	5	6	7		8
当てはまる番号をすべて〇で囲みます。	利用者	211	1	2	3	4	5	6	7	8	
当てはまる番号を一つ〇で囲みます。	主な利用者	212	1	2	3	4	5	6	7	8	

**漁業協同組合等**には、漁業協同組合の他、漁業生産組合、漁業協同組合連合会を含めます。

**漁業者**には、個人その他、会社等の法人を含めます。

**水産加工業協同組合等**には、水産加工業協同組合の他、水産加工業協同組合連合会、その他の加工組合（事業協同組合、企業組合等）を含めます。

**加工業者**には、個人その他、会社等の法人を含めます。

3 事業所の冷凍・冷蔵庫の冷蔵能力（収容トン数）及び1日当たりの凍結能力をトン単位で記入してください。

冷蔵能力	221	万	千	百	十	(トン)	凍結能力	222	万	千	百	十	(トン/日)
------	-----	---	---	---	---	------	------	-----	---	---	---	---	--------

(冷蔵能力の換算率)  $1\text{m}^3 = 0.4\text{トン}$

以下に該当する場合は、このページ以降を記入してください。  
該当しない場合はここで終わります。

Ⅲ 水産加工場

調査日前1年間（平成19年11月1日～平成20年10月31日）に、販売を目的として、水産物を原料として加工製造を行った事業所の方が対象です。

なお、漁業を営む事業所・世帯であっても、加工製造のための作業場等を有し、かつ専従の従事者を雇って加工製造を行っている場合も対象となります。

※ 水産加工品とは、水産動植物を主原料（原料割合で50%以上）として製造された食用加工品、飼肥料をはじめ、生鮮水産物を凍結した冷凍水産物のことです。

1 過去1年間に事業所で生産したすべての水産加工品について、その種類ごとに生産量をkg単位で記入してください。

		生 産 量						生 産 量				
		301						301				
		万 千 百 十 (kg)						万 千 百 十 (kg)				
冷凍水産物	①					くん製品	⑫					
缶・びん詰	②					節製品	⑬					
寒 天	③					その 他	塩辛類	⑭				
油 脂	④						水産物漬物	⑮				
ねり 製品	かまぼこ類	⑤				調 味 加 工 品	水産物 つくだ煮類	⑯				
	魚肉ハム・ ソーセージ類	⑥					乾燥・焙焼・ 揚げ加工品	⑰				
冷凍食品	⑦						その他	⑱				
素干し品	⑧					その他	⑲					
塩干品	⑨					飼肥料	⑳					
煮干し品	⑩											
塩蔵品	⑪					焼・味付のり	㉑					

億 万 千 (百枚)

原料の板のりに換算した枚数を百枚単位で記入してください。

2 過去1年間に事業所で生産したすべての水産加工品について、年間の販売金額が最も多かった種類を、上記1の番号①～㉑から一つ選んで記入してください。

年間販売金額第1位の水産加工品の種類	311	
--------------------	-----	--

3 過去1年間の事業所における水産加工品の販売金額について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	100 万円 未満	100 万 ㄱ	500 万 ㄱ	1,000 万 ㄱ	5,000 万 ㄱ	1 億 ㄱ	5 億 ㄱ	10 億 円 以上
321	1	2	3	4	5	6	7	8

水産加工品以外の製品を販売している場合は、事業所の総販売金額のうち、**水産加工品のみ**の販売金額に該当する区分を○で囲んでください。

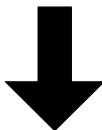
製造した水産加工品を**自社の他事業所へ加工原料として提供した場合**には、その分の金額は販売したものとして見積もってください。

4 過去1年間の事業所における原材料（水産動植物）の仕入れ状況について

(1) 原材料に占める国産品の割合（重量ベース）について、当てはまる番号を一つ○で囲んでください。

	すべて 輸入 品	30 % 未 満	30 % ㄱ	50 % ㄱ	70 % 以 上	すべて 国 産 品
331	1	2	3	4	5	6

2～6を選んだ方は(2)もお答えください。



(2) 事業所における国産原材料の仕入先について、当てはまる番号をすべて○で囲んでください。

	漁 業 者	漁 業 協 同 組 合	そ の 他
332	1	2	3

**漁業協同組合**には、漁業協同組合が開設する魚市場から仕入れた場合を含めてください。  
 漁業を営む事業所・世帯において、加工原料を自ら漁獲・収獲している場合は**その他**を含めてください。

5 製品製造の工程管理内容について

(1) 11月1日現在で、事業所におけるHACCP手法の採用状況について当てはまる番号を一つ〇で囲んでください。

	採用している	採用していない
341	1	2

**HACCP (ハシップ) 手法**  
 とは、食品製造における原材料から加工、出荷に至るまでの各段階で「安全性に害を与える要因を分析」し「危害発生の防止の上で重要な管理を行うべきポイント」を監視・記録することで、食品の安全性を確保する衛生管理手法のことをいいます。

1を選んだ方は(2)もお答えください。

(2) HACCP手法を採用している理由について、当てはまる番号をすべて〇で囲んでください。

	製品の 高付加 価値化	事故等 のリスク 削減の ため	輸出先 の基準 を満た すため	そ の 他
342	1	2	3	4

調査はここで終わりです。  
 ご協力ありがとうございました。

内容の問い合わせのみに使用させていただきますので、ご担当者名と電話番号の記入をお願いします。

**担当者：** **電話番号：**











